

2019年3月期 決算説明会資料

2019年6月11日



(東証二部 9857)

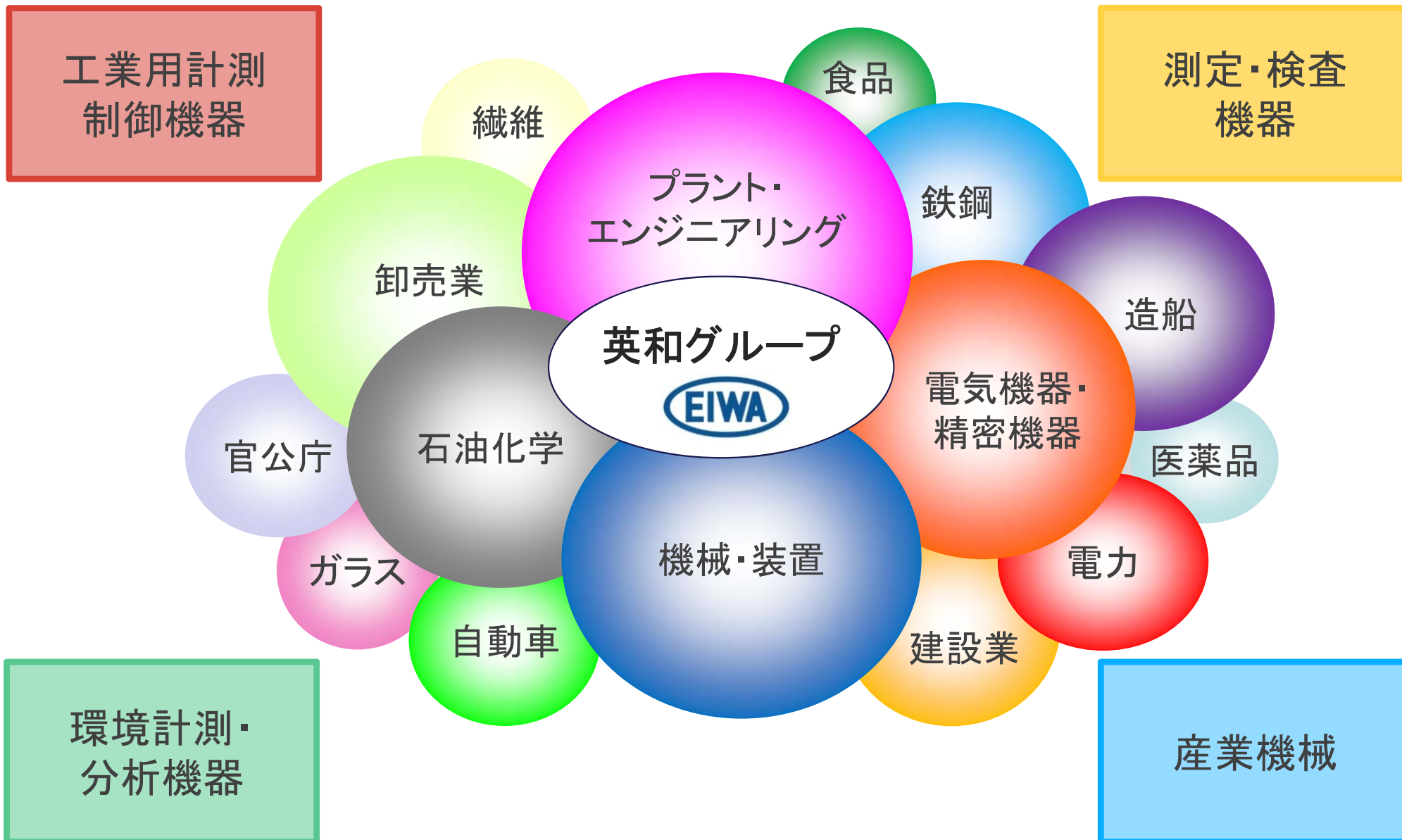
企業概要	・・・	P.3
2019年3月期 連結決算概要	・・・	P.7
2020年3月期 連結計画	・・・	P.17
中期3ヵ年経営計画	・・・	P.20
営業施策 進捗状況	・・・	P.25
営業施策 注力商品・施策	・・・	P.34
参考資料	・・・	P.39

企業概要

企業概要(2019年3月31日現在)

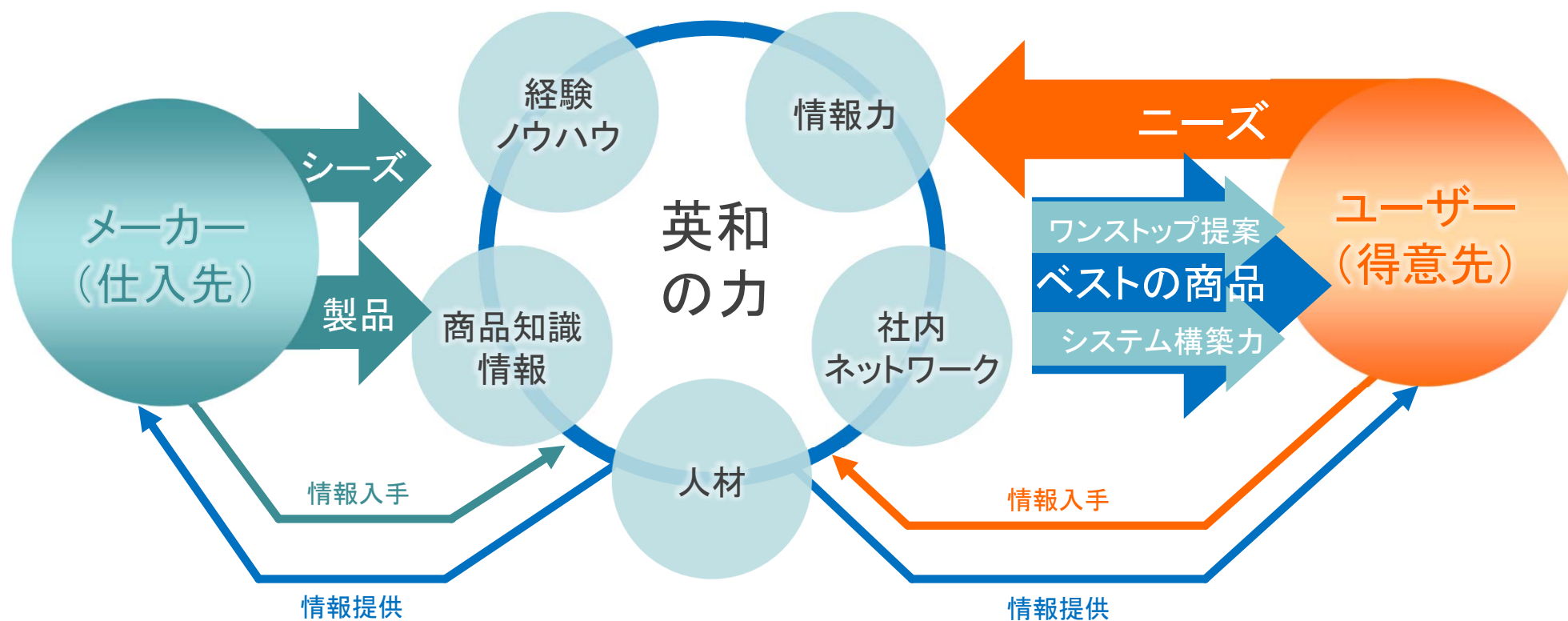
商号	英和株式会社(EIWA CORPORATION)
創業	1947年6月15日
代表取締役社長	阿部 健治
本社所在地	大阪府大阪市西区北堀江四丁目1番7号 東京都品川区西五反田一丁目31番1号(日本生命五反田ビル10階)
資本金	15億3340万円
連結従業員	312名
上場市場	東京証券取引所 市場第二部(証券コード:9857)
国内営業拠点	36カ所
連結子会社	3社:双葉テック(株)、東武機器(株)、 英和双合儀器商貿(上海)有限公司
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆工業用計測制御機器、環境計測・分析機器、測定・検査機器、産業機械の販売 ◆以上の物の輸出入代理業務、仲立業、賃貸業、古物売買業 ◆上記製品にかかわる施工、修理業務

- ◆あらゆる業界に、4分野の商品を幅広く展開
- ◆景気変動の影響を受けにくい安定的な業績を維持



ビジネスモデル

- ◆ものづくりを支える技術総合商社
- ◆独立系商社ゆえ系列に掟われない自由な商品提案が可能
- ◆ユーザーニーズを理解し、常に最適なあらゆるシステム・商品・サービスをワンストップで提供



2019年3月期 連結決算概要

(単位:百万円)	2018年3月期	2019年3月期	増減額	前年 同期比	2019年3月期 (修正計画)	計画比
売上高	34,367	37,394	+ 3,026	+ 8.8%	36,000	103.9%
営業利益	1,064	1,470	+ 406	+ 38.2%	1,400	105.0%
経常利益	1,167	1,552	+ 385	+ 33.0%	1,450	107.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	733	941	+ 207	+ 28.3%	900	104.6%

決算の概況

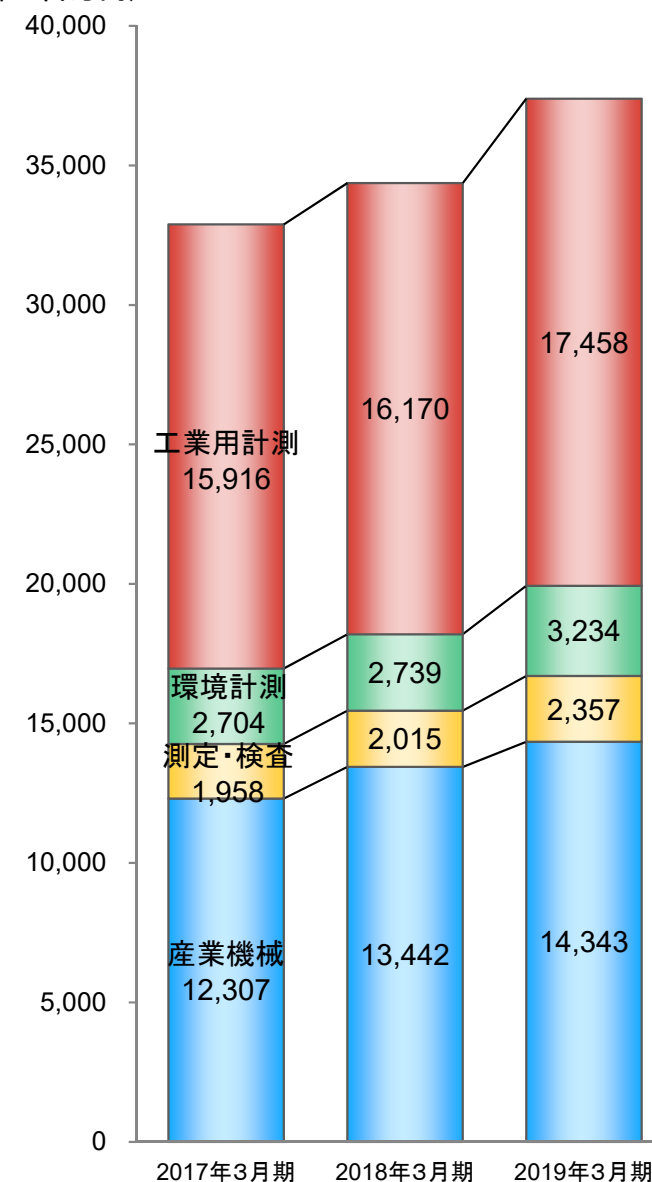
- 官公庁向けで社会インフラ設備の強化や更新につながる投資需要を取込んだ他、プラント・エンジニアリング、機械製造業、化学品製造業、船用機器製造業、電力会社を中心に設備投資が高水準で推移しました。また高付加価値営業の強化に取り組んだ結果、採算性も向上し、増収増益となりました。

(注) 本資料中の金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2019年3月期の修正計画については、2019年3月14日付「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて上方修正した計画を記載しております。

(単位:百万円)	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	前年同期比	構成比
工業用計測 制御機器	15,916	16,170	17,458	+ 8.0%	46.7%
環境計測・ 分析機器	2,704	2,739	3,234	+ 18.1%	8.6%
測定・ 検査機器	1,958	2,015	2,357	+ 16.9%	6.3%
産業機械	12,307	13,442	14,343	+ 6.7%	38.4%
合計	32,886	34,367	37,394	+ 8.8%	100.0%

(単位:百万円)

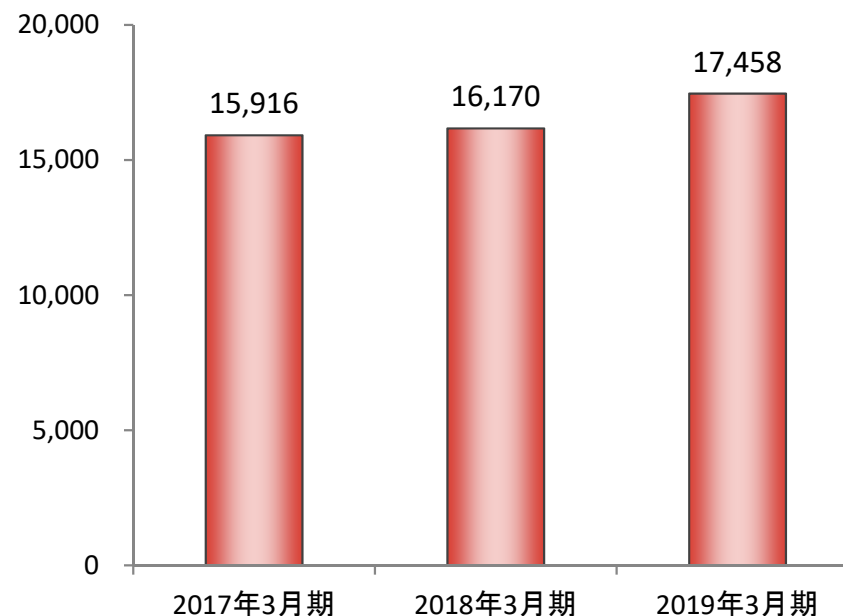


工業用計測制御機器

産業技術の基本となる計測制御技術を
安全性・信頼性で支える。

- ◆工業用センサー
- ◆制御機器
- ◆受信機器
- ◆情報通信・変換機器

(単位:百万円)



取扱い商品一例



電波レベル計



記録計

<2019年3月期 売上高>

174億58百万円(前年同期比8.0%増)

船用機器製造業で各種センサーの販売が大幅に増加した他、社会インフラ市場での自然災害に対する防災やインフラ設備の強化につながる更新需要や、民間企業での老朽化した生産設備の安定稼働や安全対策また生産性向上につながる設備投資需要を取込んだ結果、化学品製造業、鉄鋼製品製造業向けを中心に各種プロセス計測制御機器や情報通信機器の販売が増加しました。

環境計測・分析機器

『事業活動を通じ地球環境保全に貢献し社会的責任を果たす』を重点テーマに、ユーザーの環境改善対策に貢献。

- ◆ 水質・ガス・大気分析機器
- ◆ 気象観測機器
- ◆ 振動・騒音・臭気測定機器

取扱い商品一例

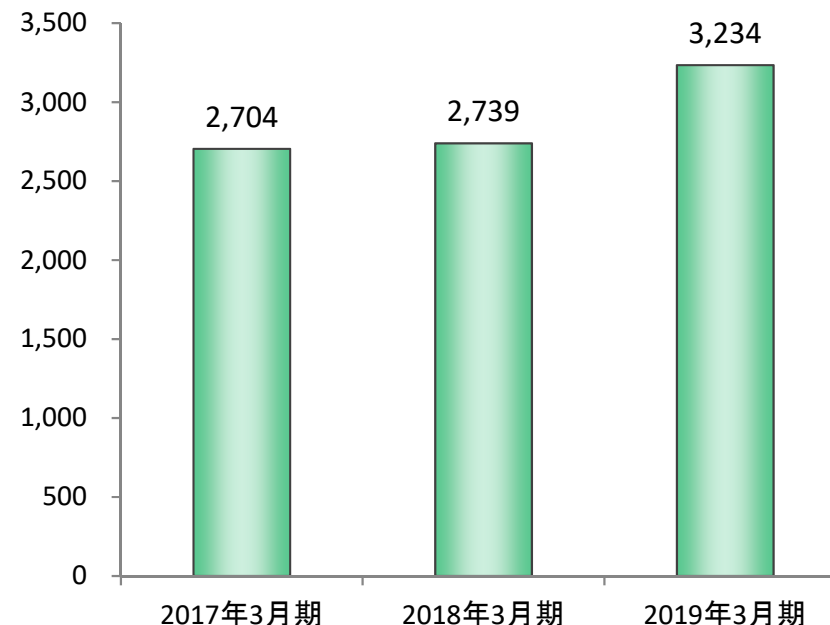


複合ガス検知器



地震計

(単位:百万円)



<2019年3月期 売上高>

32億34百万円(前年同期比18.1%増)

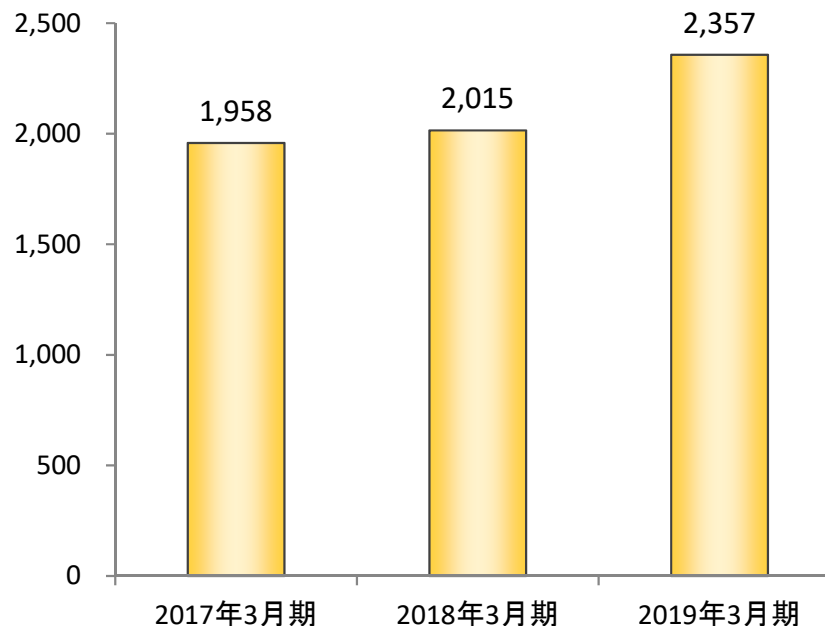
社会インフラ市場での上下水処理施設等における各種機器の更新需要、民間企業での定期修理需要を契機とする水質・大気・ガス分析計等の販売が堅調に推移し、官公庁、化学品製造業、プラント・エンジニアリング向けを中心に販売が増加しました。

測定・検査機器

研究開発や製品の検査を確かな品質でサポート。

- ◆形状検査・試験機器
- ◆非破壊検査・試験機器
- ◆材料検査・試験機器
- ◆電力監視機器・システム

(単位:百万円)



取扱い商品一例



工業用内視鏡



輪郭形状測定器

<2019年3月期 売上高>

23億57百万円(前年同期比16.9%増)

生産設備の安定稼働につながる各種検査機器の導入需要、製品の品質や安全性を確保するためトレーサビリティの強化につながる投資需要を取込んだ結果、自動車関連業界向けに精密測定・検査機器の販売が大幅に増加しました。

産業機械

あらゆる生産設備・社会資本設備で活用される産業機械のソリューションを提供。

- ◆油・空圧機器
- ◆ポンプ・バルブ機器
- ◆道路維持機械
- ◆エネルギー関連設備
- ◆各種装置

取扱い商品一例

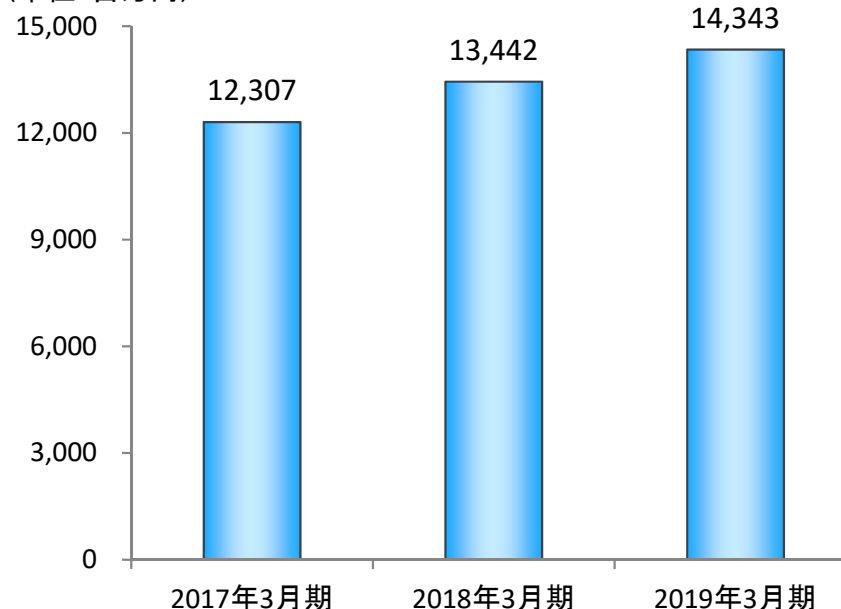


ポンプ



路面清掃車

(単位:百万円)

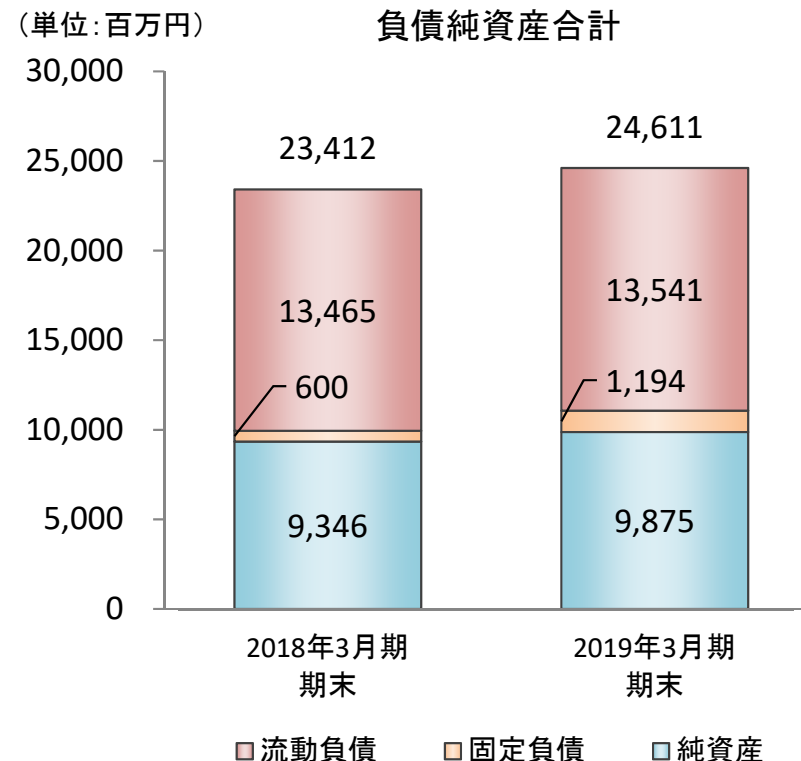
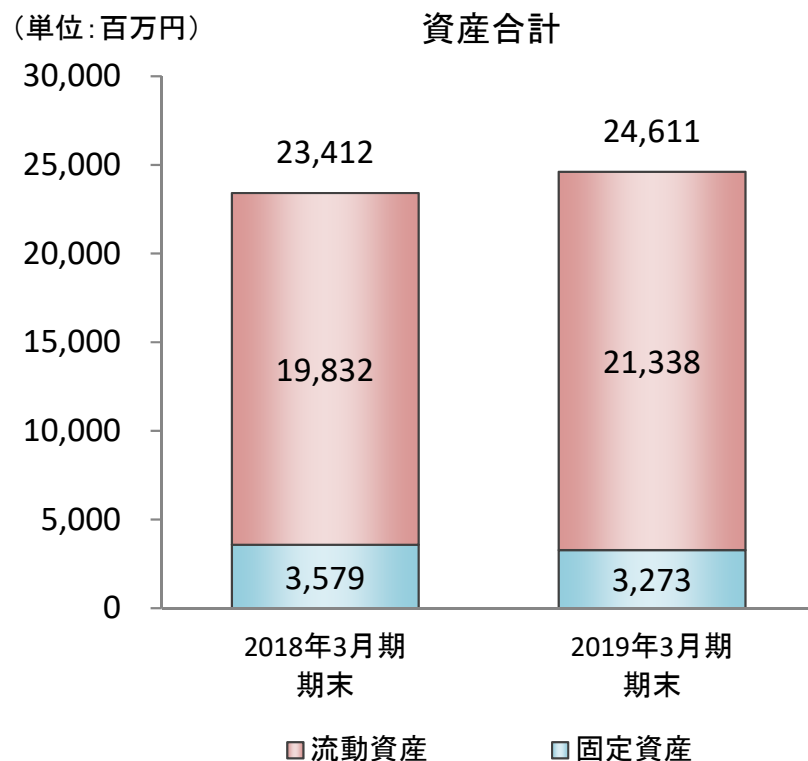


<2019年3月期 売上高>

143億43百万円(前年同期比6.7%増)

自然災害に対する防災や復旧に使用する産業車両の販売は官公庁向けで堅調に推移しました。また、化学品製造業向けで定期修理にともなうポンプやバルブ等の販売が増加した他、船用機器製造業向け排ガス規制にともなうバルブの販売、機械製造業向け高効率省エネポンプや油圧機器の販売、電力会社向け災害対策機器やバルブの販売も好調に推移し増加しました。

バランスシート(連結)

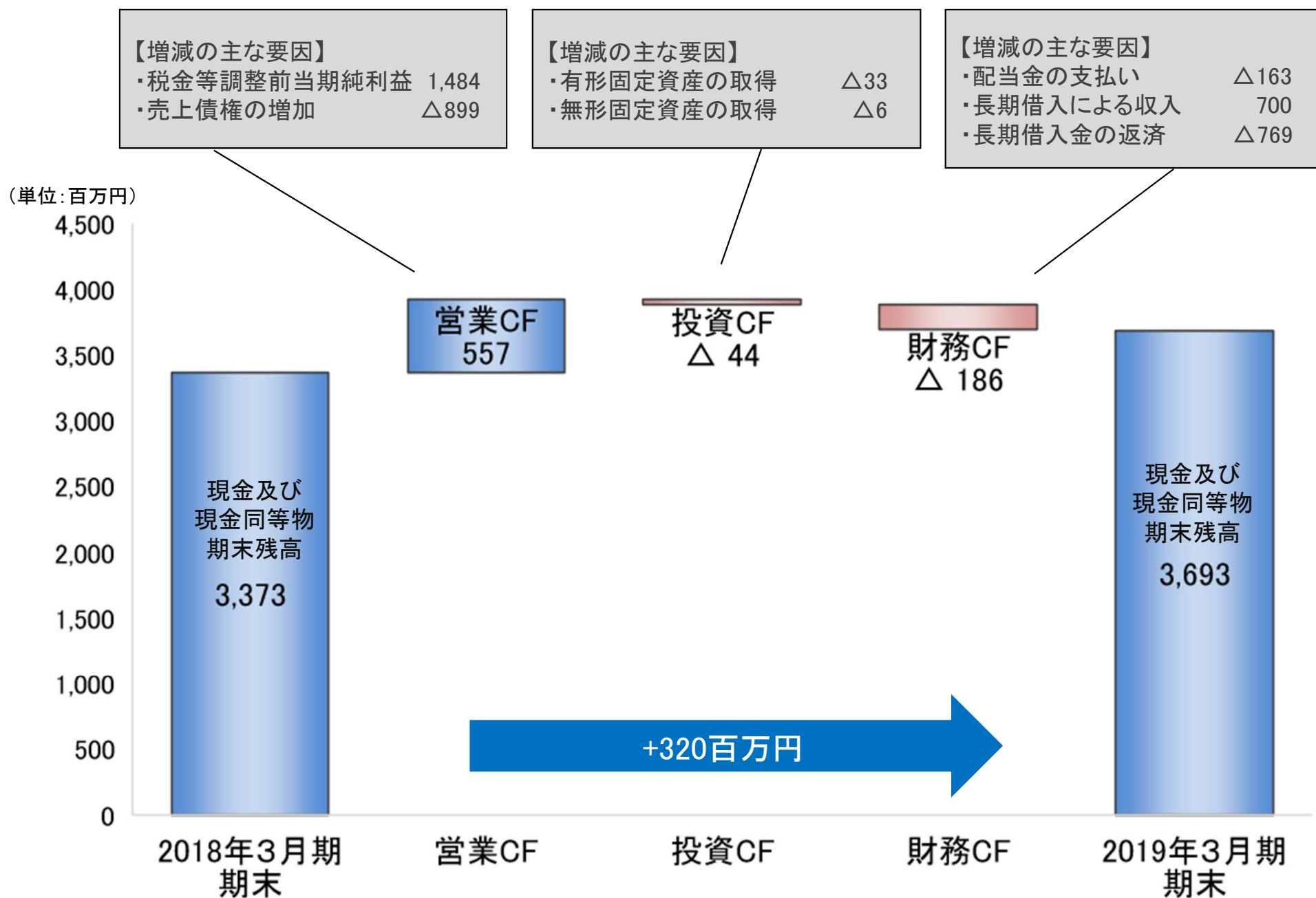


2019年3月期 ハイライト(カッコ内は前期比)
(単位:百万円)

資産		【増減の主な要因】
◆受取手形及び売掛金:	14,441(+715)	} 売上高増加
◆現金及び預金:	3,701(+319)	

負債・純資産		【増減の主な要因】
◆支払手形及び買掛金:	6,263(+193)	} 仕入高増加
◆電子記録債務:	5,603(+146)	
◆退職給付に係る負債:	464(+165)	
◆純資産:	9,875(+528)	配当の支払いにより減少したが 当期純利益により増加

連結キャッシュ・フロー



連結貸借対照表

■自己資本比率：0.2ポイント増加し40.1%となりました。(2018/03時点39.9%)

資産

	2018/03	2019/03	増減額
流動資産	19,832	21,338	1,505
現金及び預金	3,382	3,701	319
受取手形及び売掛金	13,725	14,441	715
電子記録債権	2,042	2,221	179
たな卸資産	565	649	84
その他	116	322	206
固定資産	3,579	3,273	△ 306
有形固定資産	1,424	1,351	△ 72
無形固定資産	51	32	△ 19
投資その他の資産合計	2,104	1,889	△ 214
その他	2,151	1,937	△ 214
貸倒引当金	△ 47	△ 47	0
資産合計	23,412	24,611	1,199

負債及び純資産

(単位:百万円)

	2018/03	2019/03	増減額
流動負債	13,465	13,541	76
支払手形及び買掛金	6,069	6,263	193
電子記録債務	5,457	5,603	146
短期借入金	-	50	50
1年内返済予定の長期借入金	768	241	△ 526
引当金	496	512	15
その他	673	871	197
固定負債	600	1,194	594
長期借入金	100	558	458
引当金	24	25	0
退職給付に係る負債	299	464	165
その他	176	146	△ 29
負債合計	14,065	14,736	670
純資産	9,346	9,875	528
株主資本	9,057	9,833	776
その他の包括利益累計額	289	41	△ 248
その他有価証券評価差額金	169	69	△ 100
為替換算調整勘定	13	10	△ 2
その他	106	△ 38	△ 144
負債純資産合計	23,412	24,611	1,199

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

2020年3月期 連結計画

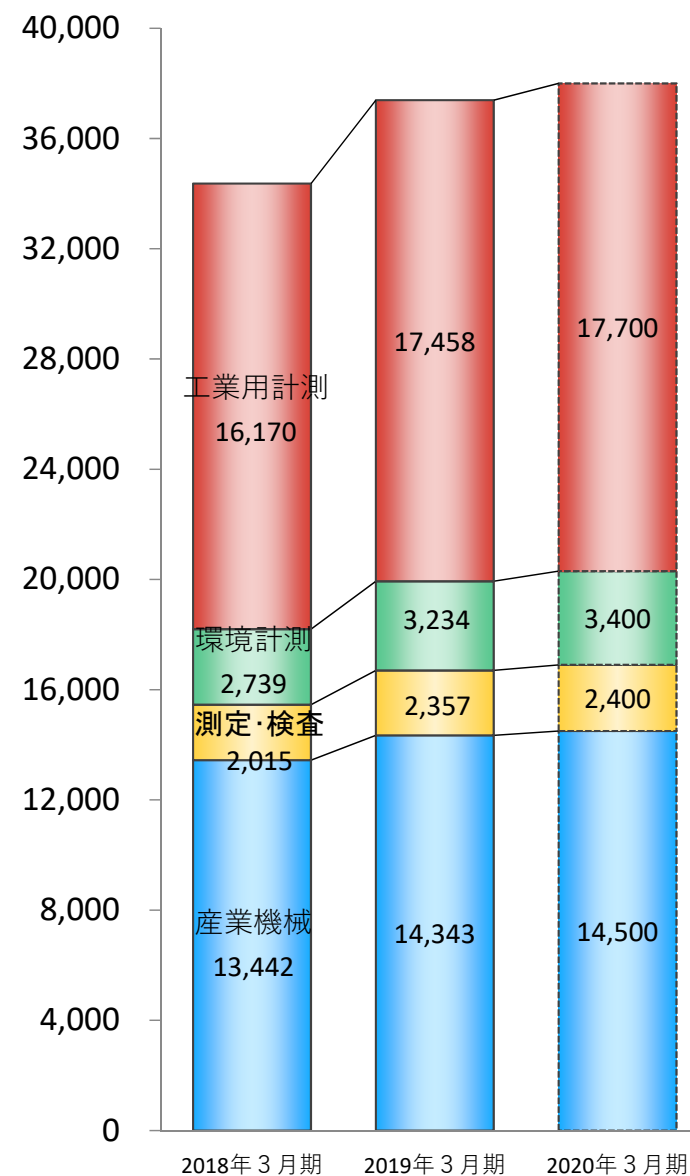
(単位:百万円)	2019年3月期	2020年3月期	増減額		前年同期比	
売上高	37,394	38,000	+	605	+	1.6%
営業利益	1,470	1,500	+	29	+	2.0%
経常利益	1,552	1,560	+	7	+	0.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	941	1,000	+	58	+	6.3%
1株当たり当期純利益	148.68	158.00	+	9.32	+	6.3%

見通し

- 主要事業領域である国内市場は、雇用や所得環境の改善が継続していく中で、引き続き緩やかな回復基調が続くと期待され、社会インフラや生産設備の安定稼働に向けた取組み、働き方改革や労働人口の減少を背景とした生産性向上につながる取組み、新エネルギーの普及に向けた研究開発投資の取組みを足掛かりに民間企業の設備投資は継続が見込まれます。一方で、本年10月に実施予定の消費増税の影響や、各国の政治リスク、通商問題への不安による為替相場への影響等が世界経済の足かせとなり、企業の景況感を悪化させる懸念があります。

(単位:百万円)	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	前年同期比	構成比
工業用計測 制御機器	16,170	17,458	17,700	+ 1.4%	46.6%
環境計測・ 分析機器	2,739	3,234	3,400	+ 5.1%	8.9%
測定・ 検査機器	2,015	2,357	2,400	+ 1.8%	6.3%
産業機械	13,442	14,343	14,500	+ 1.1%	38.2%
合計	34,367	37,394	38,000	+ 1.6%	100.0%

(単位:百万円)



中期3カ年経営計画

2017年度～2019年度 経営基本方針

『事業ポートフォリオの最適化と
生産性追求による収益力の向上』

2019年度 経営方針

『実行力の強化と成果の追求
～To the NEXT STAGE～』

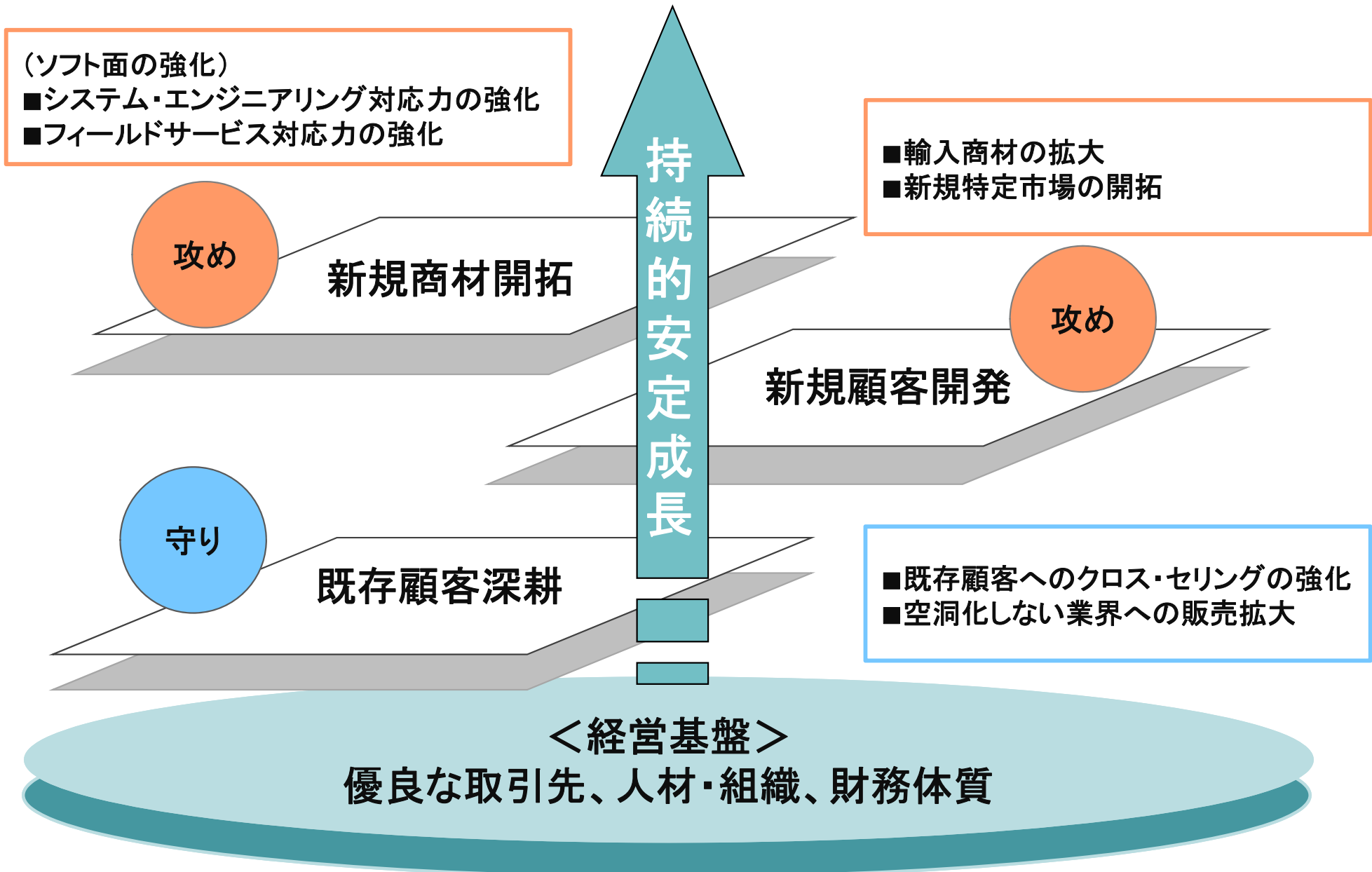
2017年度 実績
売上高 34,367百万円
経常利益 1,167百万円

2018年度 実績
売上高 37,394百万円
経常利益 1,552百万円

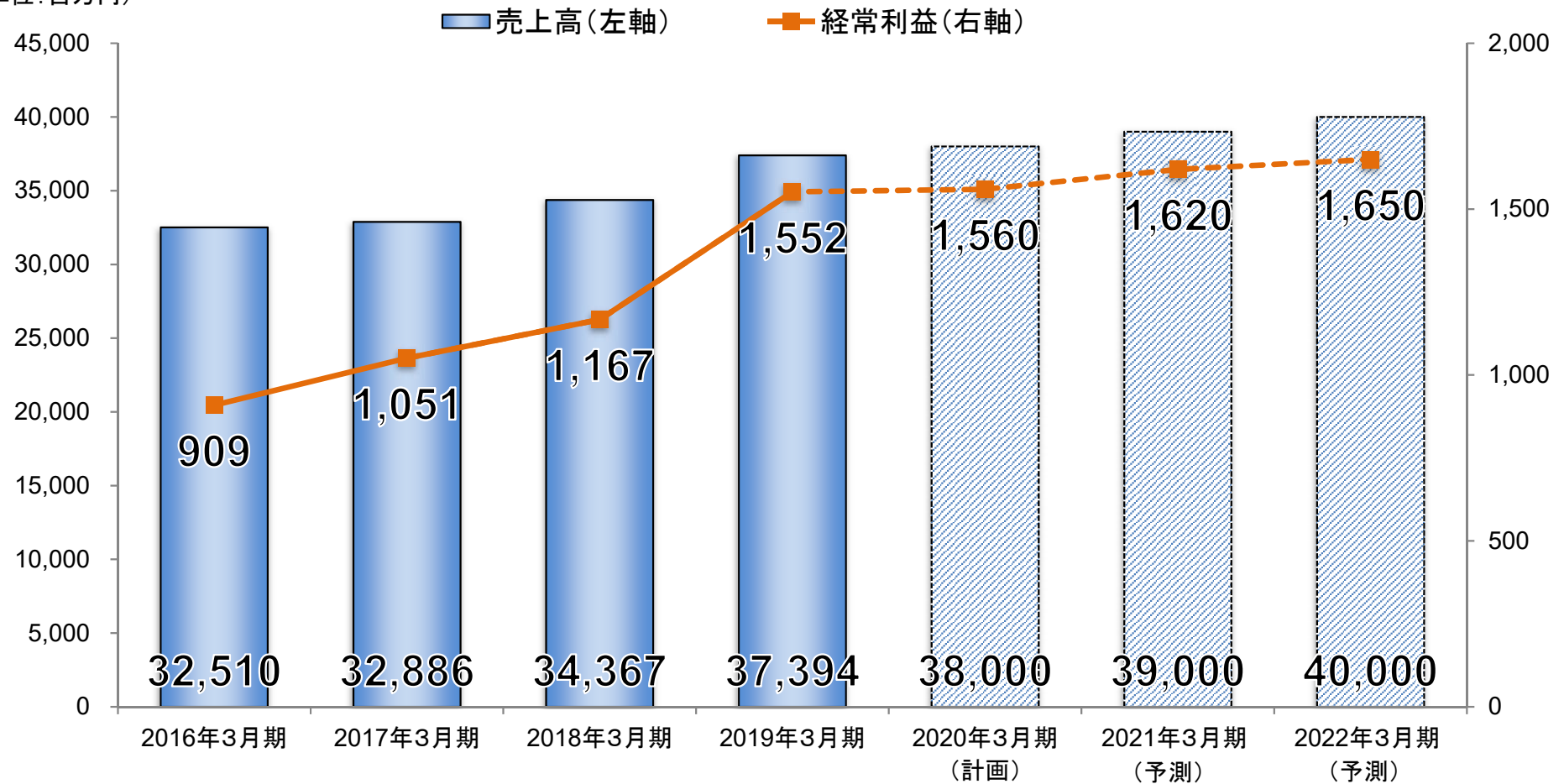
当初目標数値を前倒しで達成

2019年度 修正目標
売上高 38,000百万円
経常利益 1,560百万円

当初目標
売上高 36,000百万円
経常利益 1,200百万円



(単位:百万円)

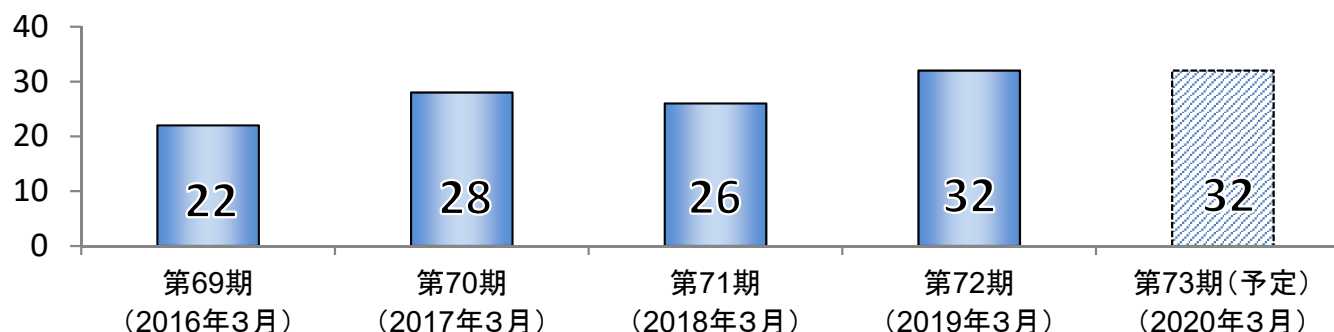


	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
ROE (株主資本利益率)	6.6%	8.2%	8.1%	9.8%	目標: 8.0%		

普通配当

第69期 (2016年3月期)	第70期 (2017年3月期)	第71期 (2018年3月期)	第72期 (2019年3月期)	第73期(予定) (2020年3月期)
22円	(※1) 28円	26円	(※2) 32円	32円

(単位:円)



(※1) 2017年3月期の配当金には、創業70周年記念配当2円が含まれております。

(※2) 2019年3月期の期末配当金は、2019年6月開催予定の株主総会にて付議予定です。

株主優待

1. 対象となる株主様 毎年3月末日現在の当社株主名簿に記載された株主様を対象といたします。
2. 優待の内容 以下の基準により保有株式数と保有年数に応じてクオ・カードを進呈いたします。毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬に発送いたします。



保有株式数	継続保有3年未満	(※3) 継続保有3年以上
100株以上500株未満	500円分	1,000円分
500株以上	1,000円分	2,000円分

(※3) 「継続保有3年以上」とは、当社株主名簿に同一株主番号で継続して3年以上記載されることとします。

営業施策 進捗状況

既存顧客深耕

既存顧客へのクロス・セリングの強化

働き方改革への取組みや人手不足を背景とした設備投資需要

(化学会社、鉄鋼メーカー、機械メーカー他)

【主な獲得内容】

- IoT等のビッグデータを活用した設備の予知保全導入につながる投資案件
- 効率化につながる設備の自動化投資案件
- 日常メンテナンス業務の改善につながる設備投資案件

【主な製品】状態監視等の各種センサー、無線化・遠隔監視システム、省配線化システム等

品質管理向上と信頼性回復に向けた投資需要

(機械メーカー、自動車産業市場他)

【主な獲得内容】

- 高精度精密測定機器や検査機器の導入に関する設備投資案件
- トレーサビリティの強化につながる設備投資案件
- 測定データの改ざん防止を目的とした検査・測定工程の自動化に関する設備投資案件

【主な製品】形状・材料検査機器、非破壊検査機器等

既存顧客へのクロス・セリングの強化

老朽化した設備の安定稼働につながる設備投資需要

(化学会社、鉄鋼メーカー他)

【主な獲得内容】

- 定期修理や日常保全に関する設備投資案件
- 安全性の向上や事故防止につながる対策投資案件
- 職場環境改善に関する設備投資案件

【主な製品】 各種センサー、大気・水質・ガス分析機器、ポンプ・バルブ等の更新、上記に係るワンストップ(一括)対応、熱中症対策機器等

既存顧客への深耕拡大 (機械メーカー、船用機器メーカー他)

【主な獲得内容】

- 高効率化や省エネルギーにつながる環境配慮型製品(ポンプ、LED照明、各種センサー)
- 各種環境規制(大気・水質・水銀等)に対応する機器の販売(各種センサー、各種分析計)
- スtockビジネスへの取組み(リプレイス需要・交換部品の販売が増加)

空洞化しない業界への販売拡大

社会インフラ市場における防災・復旧 対策投資需要 (官公庁・電力会社)

【主な獲得内容】

- 自然災害に対する防災や復旧に使用する産業車両
(路面清掃車、対策本部車、凍結防止剤散布車、アスファルトフィニッシャー等)
- 災害対策に関連する各種産業機械

国土強靱化に関連する社会インフラ 設備の対策投資需要 (官公庁)

【主な獲得内容】

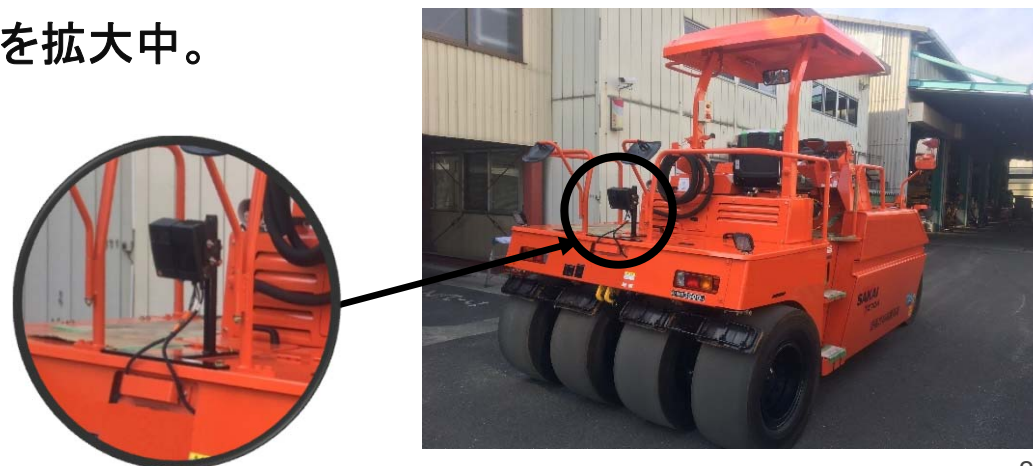
- 老朽化した上下水処理場、防潮水門等を使用する各種機器の更新
- 河川監視水位計や遠隔監視システムの導入

反射物追跡型監視システム「サポートE-eye」搭載の産業車両

2017年度より販売を開始した3D赤外線センサーを搭載した特殊車両のニーズは増加しており、当社独自の商品名『サポートE-eye』として販売を拡大中。

<目的> 夜間作業時の作業担当者の安全確保、
労働災害の防止対策

<特徴> 反射ベスト着用者だけを検知する
3D赤外線センサーのアプリケーションを
応用し、産業車両へ搭載
危険時に、運転席へブザー警告



新規特定市場の開拓

自動車産業市場

【主な獲得内容】

- 工場内の試験設備、検査設備で精度向上や品質向上につながる設備投資案件
 - 【主な製品】・オイル清浄度管理機器の販売拡大、ストックビジネスへの拡大
 - ・EV化を見据えた高精度精密測定・検査機器の増設や更新

- トレーサビリティの強化につながる設備投資案件

【主な製品】・刻印機、データ収集システム導入による品質管理の徹底(見える化)

- 自動車生産設備の省力化、効率化、IoT化需要の取込み

【主な製品】・組立ライン等の生産ライン更新

新エネルギー、燃料電池、研究市場

【主な獲得内容】

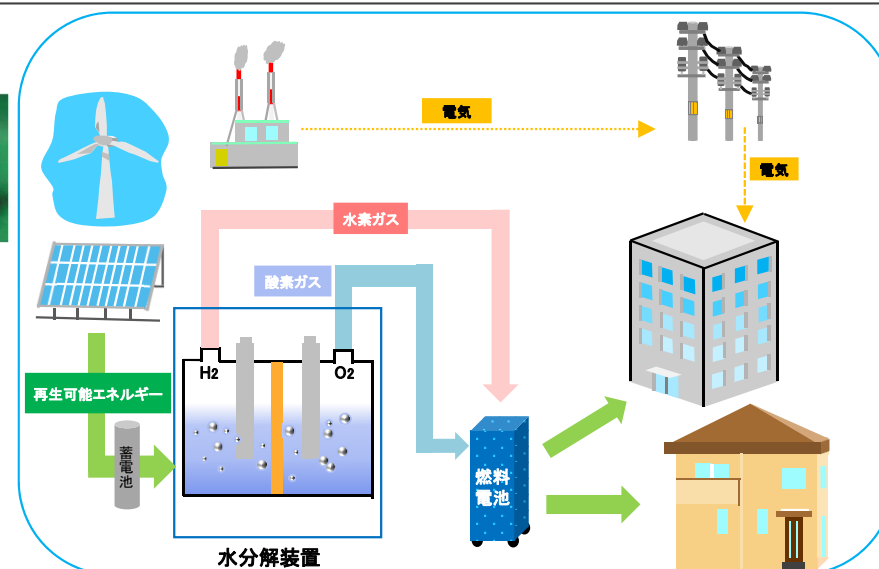
- 日本自動車研究所(JARI)が開発した固体高分子形燃料電池セルのライセンス販売を継続



- 水素・燃料電池の研究(*)で使用するセルの引合増加

(*)経済産業省が掲げている水素・燃料電池政策にもとづき、再生可能エネルギー由来の電力を水分解の上、水素として貯留、燃料電池の燃料として活用(ESS:Energy Storage System)する研究

(国公立研究機関、大学、民間企業の研究部門)



再生可能エネルギー由来水素・燃料電池の利用(イメージ図)

新規商材開拓

システム・エンジニアリング対応力の強化

- 『自動化・ロボット化、IoTセミナー』を大阪本社・東京本社で初開催
- 当社グループの東武機器(株)・双葉テック(株)及び各地域で展開する協業企業と連携
【主な獲得内容】
 - 製造中止やサービスを終了(EOS:End of Service)した省配線システム、制御システムの更新案件
技能継承問題や労働人口の減少を背景に、各種単品機器から派生し、設計・設置工事を含めたワンストップ(一括)案件の獲得
⇒生産設備の自動化、水質や大気分析機器の更新に関する一括案件
 - 生産効率を目的に、IoT等のビッグデータの活用や、製造現場における日常メンテナンス業務の改善につながる設備投資案件

フィールドサービス対応力の強化

- 機器納入に伴う初期調整業務の取組み
【主な獲得内容】 当社グループの東武機器(株)及び協業企業との連携を加速
- 過去にお客様へ販売した水質や大気分析機器の定期点検業務に注力
- 定期点検業務時に、製造後の年数が経過している機器の更新提案を継続実施

株式会社オフィスエフエイ・コム 代表取締役 飯野英城様講演 『自動化・ロボット化、IoTセミナー』を初開催

東京本社開催：2018年10月19日(金) ・ 大阪本社開催：2018年10月24日(水)

わが国の製造現場では、少子高齢化による労働人口の減少や働き方改革への取組みにより、生産設備の自動化や協働型ロボット導入に向けた設備投資に注目が集まっています。

『自動化・ロボット化、IoTセミナー』では、時代を先取りして取組んでこられた飯野様の成功体験をもとに、ロボット化システムやそれらをコントロールする製造実行システム(MES)、部品供給や完成品を効率よく管理する協働型ロボットを使用したLogisticsシステム(WMS)について、講演いただきました。(※)MES : Manufacturing Execution System WMS : Warehouse Management System

多品種少量生産の製造工場では、多様な部品やワーク作業を扱うことから、今後協働型ロボットを含めた各種システムを導入することで、安定した製品の生産、物流管理、そして、従業員の労働時間削減や安全性確保に期待できます。

今後も最新の技術動向に迅速・的確に対応することにより、お客様のお困りごとやご要望に応じたベストな提案を実施してまいります。



新設【IoTソリューション】ページ + 日刊工業新聞への広告掲載によるプロモーション

計測制御 | 産業向けIoTソリューション

EIWA **ソリューション・サービス** 商品 コンタクト

あらゆるモノがつながる時代
センサーが情報を数値化し、ネットワークがIoTデバイスへ伝送する。センサーが設置されている「現場」では、様々な計測信号、データ、フィールドネットワーク等が多く存在しています。IoTデバイスに伝送するには様々な信号・通信規格・データを一元管理する事が必須項目の1つとなります。70年以上に渡り、インダストリーの世界で計測制御とともに歩んできた当社だからこそ、機器やシステムが多様化する設備のIoT化に貢献いたします。

予兆保全ソリューション
振動・電流値をはじめとした見える化の次のステージ

水処理遠隔監視
各水質センサの収集やクラウド活用によるビッグデータ化

計装 → IoT
電力や温度などのアナログ・デジタル信号の監視を一元化

位置検知ソリューション
人、物の所在検知、動線監視により工程管理、作業効率を実現

あらゆるモノがつながる時代。
長年にわたり産業界で歩んできた英和は設備のIoT化に貢献いたします。

新設

アドレス

<https://eiwa-iot.com/>

日刊工業新聞

3/20付 第2部 ソサエティー5.0特集 8面へ広告を掲載

会社も、
産業も、
社会も価値観も、
すべてが抜本的に変わる。

会社もビジネスも変える。
IoTのチカラで。
すべてが超スマートになる社会。
数々の新しいテクノロジーが生まれ、
社会に溶け込みつつある現代。
豊かになった先進国ニッポンも、
更なる超スマート社会の実現に向け、
かつてないスピードで技術革新が
進んできています。
70年以上産業を歩んできた英和も、
今までの常識を再定義すべく、IoTの
力で会社もビジネスも革新を続けて
いきます。

詳しくは

<http://www.eiwa-iot.com>

EIWA 英和株式会社
eiwa-net.co.jp



展示会への出展

2018年度の実績

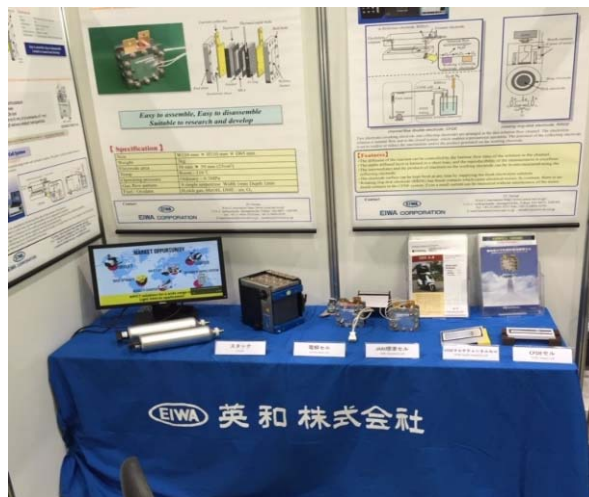
【環境・トレーサビリティ管理・産業車両】

- 4月 SEA JAPAN2018
- 5月 NEW環境展
人とくるまのテクノロジー展
- 6月 第22回 機械要素技術展
- 2月 第23回 機械要素技術展

【新エネルギー】

- 5月 燃料電池シンポジウム併設展示会
国際水素燃料電池パートナーシップ
横浜フォーラムIPHE(*)
- 8月 国際燃料電池ワークショップ
- 9月 電気化学会 秋季大会
- 11月 水素エネルギー協会 定例会
ふくしま 再生可能エネルギー産業フェア
電池討論会 機器展示会
- 12月 日本固体イオニクス学会
よこはま水素エネルギー協議会
- 3月 電気化学会 春季大会

(*) IPHE: International Partnership for Hydrogen and Fuel Cells in the Economy



営業施策 注力商品・施策

設備稼働の遠隔監視、 解析、保全管理

- 測定センサー、映像情報、制御機器、通信機器等、幅広い取扱い商品群で対応
- IoTソリューションの提供
- 機器、据付、工事、ソフトまでワンストップで提供

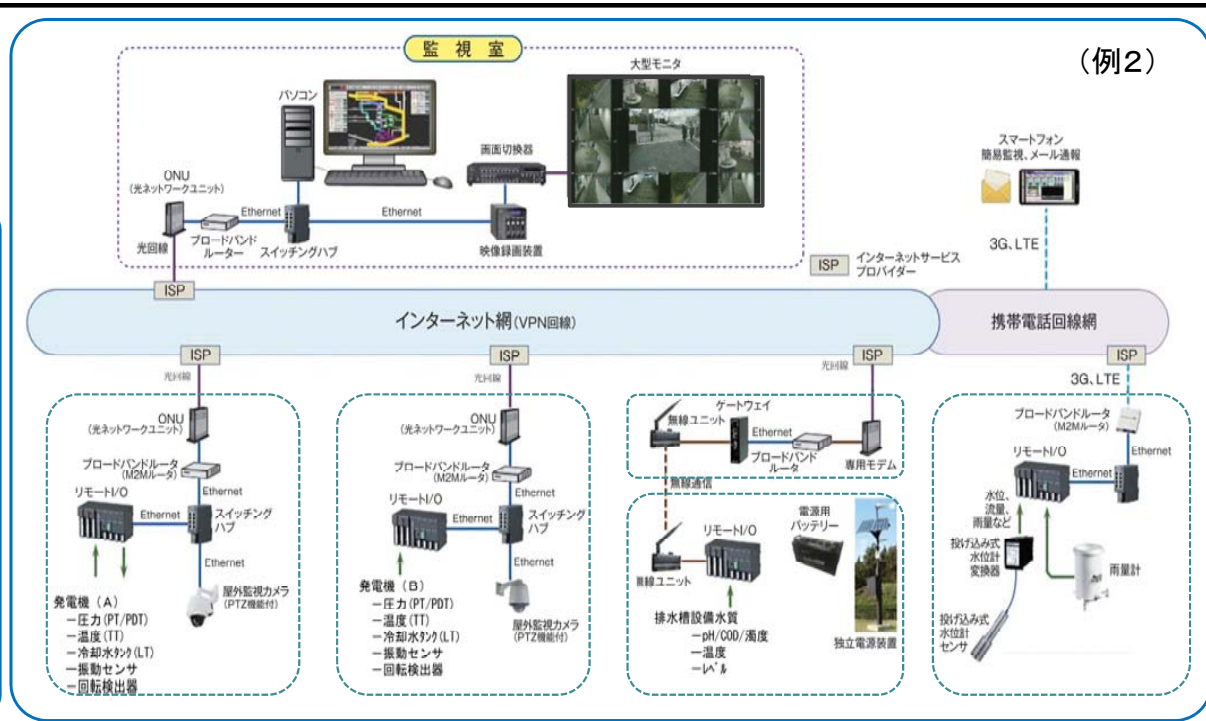
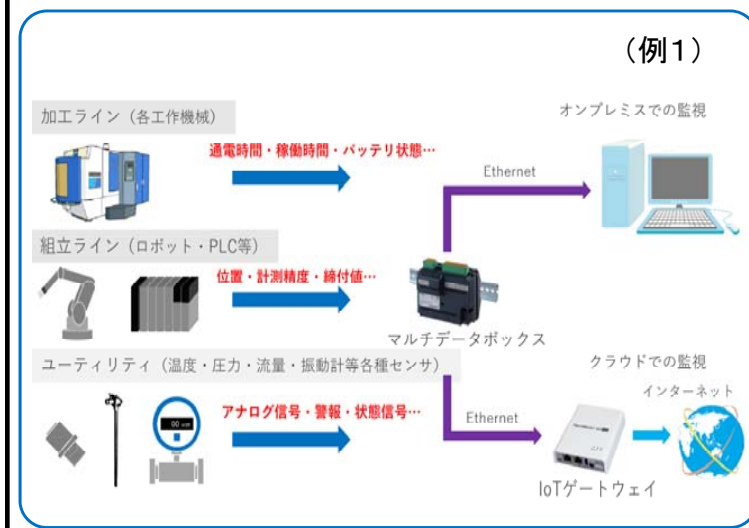
◇目的

- ・生産性向上に対応するため、生産設備や社会インフラ設備の設備稼働状況を遠隔監視
- ・お客様のニーズにあわせたシステムの構築（カスタマイズ対応）
- ・ビッグデータの解析と分析を行い、予知保全、予防保全へ活用

イメージ図(一例)

※当社オリジナル
カタログ抜粋

オートメーション工場における状態監視(例)

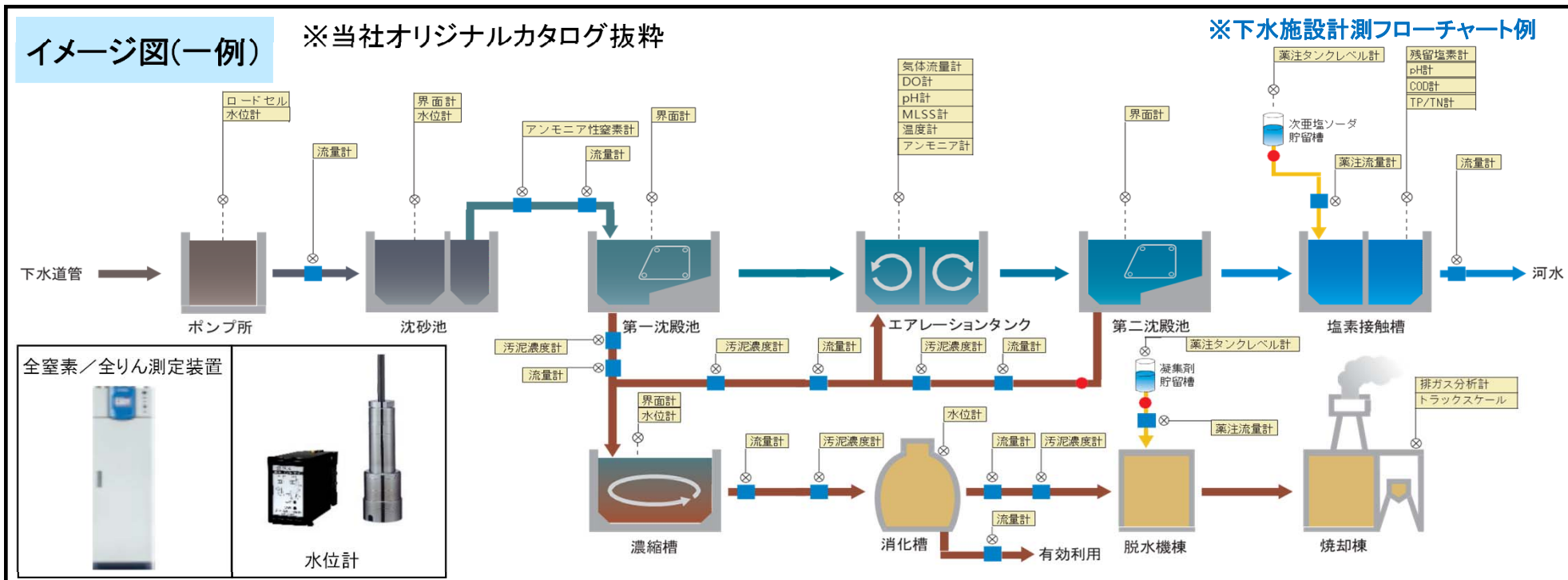


環境計測・分析機器 (水質の計測・メンテナンス)

- ▶ 省力化と低コストで安心・安全な水質管理に貢献
- ▶ 自動制御システムの構築も対応
- ▶ 異なる製造メーカーの製品を一括で点検・校正まで受託が可能

◇目的

- ・監視による排水処理の負荷軽減、適正化
- ・水質汚濁事故の未然防止
- ・法規制への対応
- ・各種分析計更新にともなうランニングコスト低減



メンテナンス管理ソリューションのご提供

- 保全予測、メンテナンス支援、トラブル処理、定常メンテナンス
- IoT技術を応用した生産設備のメンテナンス、管理

◇目的

- ・生産設備の設備管理をお客様の環境にあわせた構築が可能
- ・導入事例をもとに、初めてのお客様でも容易に導入、運用が可能
- ・メンテナンス周期、部品交換周期を最適化

イメージ図(一例) ※当社オリジナルカタログ抜粋



メンテナンスで何にお困りでしょうか？ 管理システムをご提案致します。



（社会インフラ） 維持管理機器、環境対策機器

- 産業車両で維持管理、災害対策、防災対策に貢献
- 安全衛生、環境対策機器を提供
- 機器、据付、工事含めワンストップで提供

◇目的

- ・一般道、高速道路、工場の構内等の道路清掃
- ・積雪寒冷地において路面の凍結防止、防滑、除雪作業の支援等を目的に凍結防止剤を散布
- ・夜間作業の現場を、昼間のように明るく照らす照明装置を搭載
- ・労働環境や工場の雰囲気改善（粉塵防止）

取扱い商品

※当社オリジナルカタログ、
ホームページより抜粋

路面清掃車



凍結防止剤散布車



照明車

粉塵防止システム



（設置前）

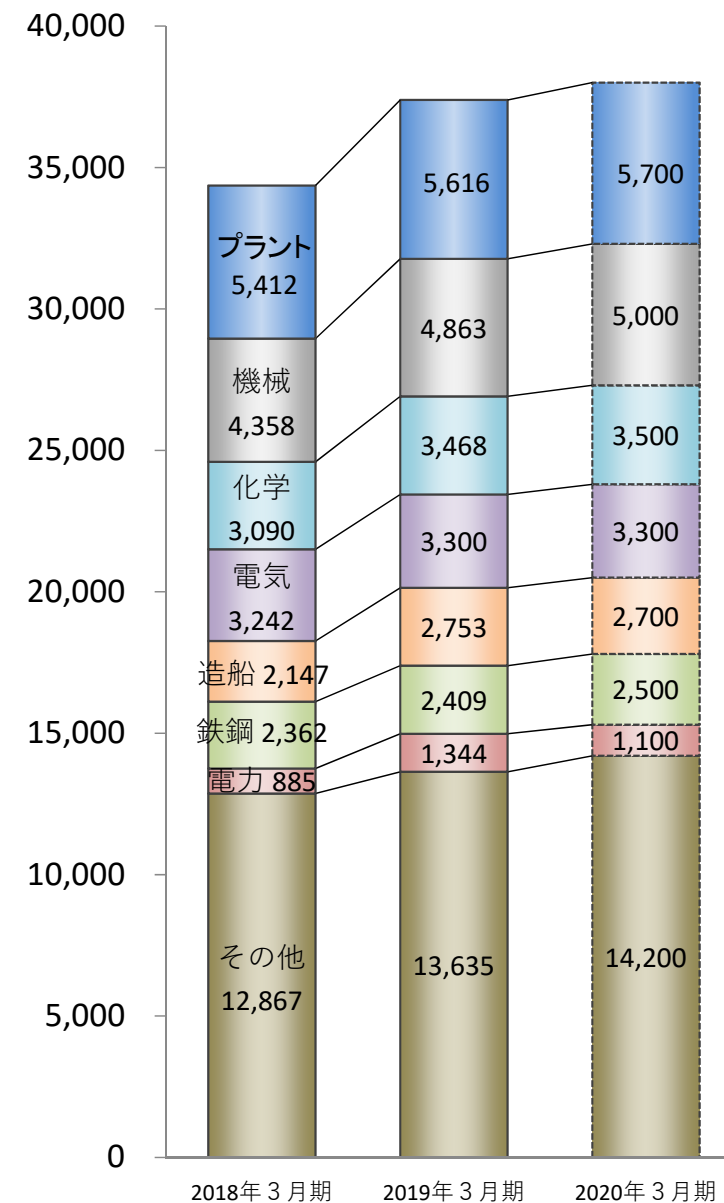


（設置後）

参考資料

(単位:百万円)	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	前年同期比	構成比
プラント	5,412	5,616	5,700	+ 1.5%	15.0%
機械	4,358	4,863	5,000	+ 2.8%	13.1%
化学	3,090	3,468	3,500	+ 0.9%	9.2%
電気	3,242	3,300	3,300	0.0%	8.7%
造船	2,147	2,753	2,700	△ 2.0%	7.1%
鉄鋼・ 非鉄金属	2,362	2,409	2,500	+ 3.8%	6.6%
電力	885	1,344	1,100	△ 18.2%	2.9%
その他	12,867	13,635	14,200	+ 4.1%	37.4%
合計	34,367	37,394	38,000	+ 1.6%	100.0%

(単位:百万円)



本資料に関するお問い合わせ先



経営企画部

TEL : 06-6539-4816

E-Mail : ir-info@eiwa-net.co.jp

URL : <https://www.eiwa-net.co.jp>

(注)この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受ける為、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。